



【スペシャル・インタビュー】

先駆者たち Vol.15
Interviews with Today's Pioneers

～「時代のバイオニア」たちに聞く～

「スイーツ」はもはや日本の文化。
世界に向けて発信していきたい

Hironobu Tsujiguchi

辻口博啓

パティシエとして、シヨコラティエとして、世界ナンバーワンの座に君臨し続ける日本人、辻口博啓。異なる13のブランドを生み出した彼の創造性は、スイーツづくりに留まらず、街づくりや教育にまで及ぼうとしている。

日本の食文化を世界に提示する

2017年、辻口は世界最大のシヨコラ品評会「C.C.C.」で5年連続となるゴールドタブレットを獲得、外国人部門でも最優秀賞を受賞した。1997年、パティシエのワールドカップ「クープ・ド・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー」に史上最年少(29歳)で優勝してから20年。コンクール荒らしの異名で恐れられた辻口のクリエイションは、今やコンクールという物差しでは測りきれないほどに進化を遂げている。

「優勝を重ね、いろんな国の人と出会ううちに、ただ優勝してもしようがない、フランスのものまねではない日本独自の文化や素晴らしさを世界に発信しなくては、と思うようになったんです」。

そう語る辻口の「和」へのアプローチは、それまでの常識を覆すものだった。日本の発酵と世界の発酵を組み合わせた「発酵のマリアージュ」、母乳の成分・グルタミン酸を昆布から抽出した「DNAシヨコラ」、指紋に入るほどのミクロ微粒粉にした米粉…。辻口はただ日本の食材を使うだけではなく、新たな素材をゼロから創り出してみせたのだ。和素材以外にも食べるコーヒード「カフェリース」を考案し、世界一のレストラン「ノーマ」のシェフ、レネ・レゼビ

から「これはスパイスだ！」と絶賛されている。もはや「和」のプレゼンターという域を超え、辻口の探求は世界のパティシエ、シヨコラティエのみならず、「食」の可能性そのものを押し広げつつあるようだ。

「スペインのサン・セバスティアンという街は、人口18万人なのにミシユランの星を合計17個も持っている。これは地元シェフ11人が立ち上がり、自分たちのレシピを公開したから。それをみんなが学び、広げることで、美食の街へと育てていった。今、日本のインバウンドは2,000万人ですけれど、今後6,000万人まで増えるといわれている。僕は日本の食文化を海外の方にも分かるよう明確に提示することで、日本全体がサン・セバス

ティアンみたいになつたらいいなと思っ
ているんです」。

スイーツづくりは人生の縮図

辻口は今、自由が丘の「モンサンクレール」を筆頭に13ものブランドを展開している。しかし、そのスタートラインは順風満帆とは言い難いものだった。「18歳の時に実家が倒産、親父は行方知れず。お金がないから専門学校にも行けず、修業時代は悔しい思いもいっぱい。アドバイスが欲しくても親父はいないし、自分の人生をどう切り開くか、とことん考え抜いた18歳でしたね」。

苦労を人一倍知っている辻口だからこそ、弟子たちには惜しみない愛情を注ぐ。独立したい者には自分のコネクションを紹介し、スタッフにはフランスまで勉強に行かせる。週休二日制で社会保険も完備。製菓業界では珍しい好待遇だ。「僕だってチャンスがくれる人がいなければ、帰る場所もないし、今の自分もな

かった。だから弟子に関しても、ライバルと考えるより一緒に成功した方がいい。だって短いですから、人生は」。

そんな辻口の信念や人柄が表れているのが「スイーツ育」だろう。スイーツ育とは、辻口が提唱する親子のための教育メソッドのことだ。

「スイーツづくりは人生の縮図。そこには必ず優先順位があって、段取りを間違ったら美味いものは絶対にできない。そういうことが人生にはいっぱいあるんだ。よって子どもたちに伝えたいんです。準備をして、手際よくつくり上げて、誰かにプレゼントをして、喜んでもらう。子どもたちは段取りの先にある充実感を味わうし、挫けそうな時、もしもしたらこの思い出が心の支えになるかもしれない。スイーツ自体を日本の文化として捉え、スイーツ育を小学校のカリキュラムに導入し、豊かな心を持った子供たちを育成していきたいなと思っています」。



つじぐち・ひろのぶ

1967年、石川県にある和菓子屋の3代目として生まれる。パティシエ・シヨコラティエとして日本の素材や伝統文化を取り入れ、コンセプトの異なる13ブランドを展開。日本スイーツ協会代表理事としてスイーツコンシェルジュ検定を実施するなど、スイーツを日本の文化にすべく活動中。産業能率大学客員教授、金沢大学非常勤講師、スーパースイーツ製菓専門学校校長、スーパースイーツ調理専門学校校長を兼務。石川県観光大使、三重県観光大使にも就任している。
(オフィシャルサイト) <https://www.super-sweets.co.jp/>

Contents

- 02 スペシャル・インタビュー【先駆者たち】
辻口博啓
(パティシエ)
- 04 Special Feature
国境を越える Kawasakiスピリット
～米国ものづくりの挑戦～
- 10 【TechnoBox】
マテリアルハンドリングシステム
スタッカ・リクレーマ
- 12 【川に見る・日本の四季】
信州から「冬」を追う
- 14 HOT TOPICS
【表紙】
リンカーン工場で製造が進む米ワシントン首都圏
交通局(WMATA)向けの地下鉄車両7000系
→詳しくは【Special Feature】(4ページ)をご覧ください